

---

# 恋人の最後

あいな

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

恋人の最後

### 【Nコード】

N6522U

### 【作者名】

あいな

### 【あらすじ】

付き合って三年目の誕生日。約束したのに連絡なし。むかつたあいつの家で見たのは他の女に囲まれたあいつ。

「もういいっ！」

捨てゼリフはありきたりな決めゼリフ。

こんなものじゃあいつが動じない事くらい知ってるけど。

でもでもでも！

今回ばかりはダメだった。

あいつがだらしない事も甲斐性なしな事も分かってたけど。

それでも。

「約束は、守るって言ったくせにい……………」

悔しくて涙がでた。

つきあって三年目の誕生日。

友達の多いあいつの事だから最初は期待していなかった。

恋人よりも友達でいた期間の方が長いから、はなから自分が優先

してもらえるなんて思ってなかった。

けど、あいつの方から言ったんだ。

「来週あけとけよ、誕生日だろ」って。

嬉しかったのに。

だらしなくて甲斐性なしのあいつのいい所は守る気のない事は言わない事だ。

約束は守る。

それがポリシーだとか言ってた。

だから例えそれが口約束でもあいつの言った事なら確約した未来も同然だった。

呆然とした。

誕生日になつても連絡は来なくて、昏すぎにこつちから連絡を入れたら留守電で。

何かあったのかと思つて心配して家まで行つたら、思い出してまた涙がでて来た。

そこにいたのは二日酔いに苦しむ、数人の女に囲まれ横になったあいつ。

衣類に乱れがあつたとかそんなんじゃない。

浮気したとかきつとそんなんじゃないんだろうけど。

だけど事実重要じゃなかった。

もういやだ。付き合つてる意味が見出せない。

「……………」

自分の名前が呼ばれる。

今更。そう思いながらも止まる足が恨めしい。

「勘違いすんなよ」

「なにを」

息を切らしたその姿を視界からわざとはずす。

「これ」

差し出された紙袋。

「……………」

「プレゼントだよ、誕生日の」

「……………」

「だから勘違いすんなつて、あいつらはそんなんじゃないよ」

その口調が彼女達との親しさを示して余計辛い。

「いいか、よくあるパターンだ妹だ」

は、とあいつの顔を凝視してやる。

「何言ってるの！？全部で何人いたと思ってるの？！それも年の差だつてあんまなかったじゃない」

「二つ違いの三つ子に……あああいつらは妹じゃなかったか。まあ幼馴染というか隣人の三つ子と同年の双子だ」

は、とさつきとは別の意味合いであいつを凝視する。

「嘘みたいな本当の話だ。いいか、言い訳みたいで言いたかかないがそれで勘違いされるくらいなら洗いざらい聞かせてやる」

つまり。

久しぶりに実家に帰った所、妹集団に見つかった。

デートだからと付きまとう彼女らを追い払おうとしたら逆に好奇心を芽生えさせてしまい。

力づくで逃げようにも女相手に本気出すわけにもいかず、（忘れていたがその内2人は人様の子で）

酒の力で吐かせようと死ぬほど飲まされたあげく、

一人暮らしの住まいまで着いて来たそうなの。

「すまん」

「じゃあ…約束忘れてたわけじゃ、ないんだ」

「たりめーだ。俺は約束は守るっつーの」

ふい、と横を向いて。

「好きな奴との約束だったら、尚更だろ」

小さかったがそれはバツチり届いてて。

さっきまで泣きつ面だった顔が照れくささから火照はじめる。

「んじゃ、行くぞ」

「ど、どこに?」

「あほ、今回の元凶となった行動。なんで俺が家に帰ったと思ってるの」

ん、と先ほど受け取らなかった紙袋を再び突きつけられる。

「サイズは合ってるはずだからよ」

覚悟しとけ、敵は両親じゃなくあいつらだ。

苦々しく吐き出したあいつの姿を見ると、今言われた事の意  
味を理解するよりも、これから向かう先の緊張よりも、

こいつとずっと一緒にいたい。

そう思えて。

それは結局、今回こいつからの誕生日プレゼントが的を射たって  
事だった。

後日、あいつの言葉の意味を知る。  
敵は親御さんでなく彼女らだった。

(後書き)

まあ、ありきたりなパターンで  
プロポーズです(´・`・´・`・´)  
タイトルも恋人としての最後つて意味です  
もうすぐ夫婦なんで(。-。-。)  
妹ちゃん'sはいい子達です  
ちよっとはっちゃけてるだけです  
兄嫁とも仲良くすごす事でしょう

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6522u/>

---

恋人の最後

2011年7月11日11時31分発行